

2023 年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会アンケート調査

『施設別給与実態調査』

厚生調査委員会

多くの施設のご協力をいただき実施した2023年度アンケート調査の集計結果をご報告致します。

調査期間：2023年12月1日～2023年12月31日

回答方法：Web ブラウザを利用した入力方式

調査対象：東京都診療放射線技師会員が所属する医療施設

調査対象施設数：466

有効回答数：98

回答率：21.0%

<結果>

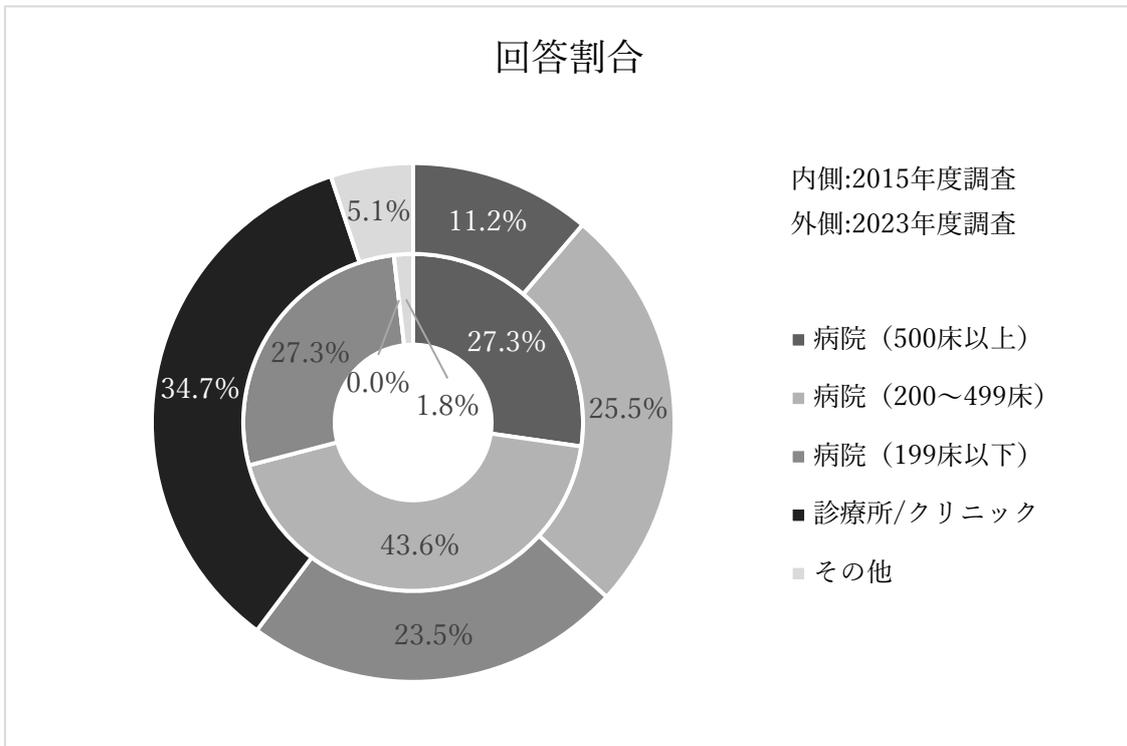
- ・回答内訳

施設形態	回答数	回答割合[%]	2015年度調査回答数
病院（500床以上）	11	11.2	15
病院（200～499床）	25	25.5	24
病院（199床以下）	23	23.5	15
診療所/クリニック	34	34.7	0
その他	5	5.1	1
全体	98	100.0	55

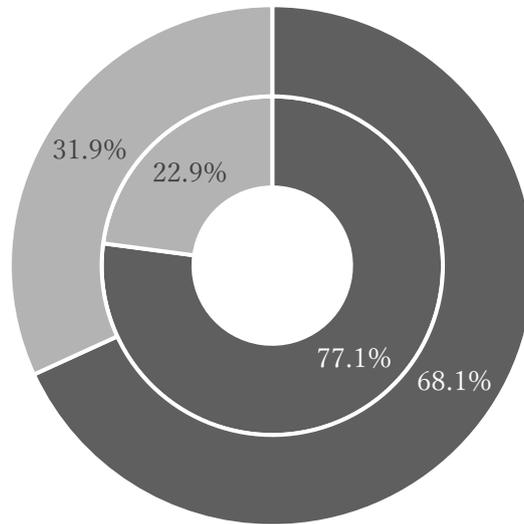
施設形態	男性技師 の平均[人]	女性技師 の平均[人]	男性管理職 の平均[人]	女性管理職 の平均[人]
病院（500床以上）	39.4	13.0	4.5	0.1
病院（200～499床）	13.7	7.4	2.5	0.2
病院（199床以下）	4.7	1.7	1.2	0.1
診療所/クリニック	2.2	1.9	0.7	0.4
その他	3.0	4.6	1.4	0.4
全体	9.9	4.6	1.8	0.2

施設形態	男性技師の 合計[人]	女性技師の 合計[人]	男性管理職の 合計[人]	女性管理職の 合計[人]
病院（500床以上）	433	143	49	1
病院（200～499床）	343	185	63	5
病院（199床以下）	107	39	28	3
診療所/クリニック	75	65	25	12
その他	15	23	7	2
合計	973	455	172	23

2015年度調査	
施設形態	施設数
病院（500床以上）	15
病院（200～499床以下）	24
病院（199床以下）	15
その他	1
合計	55
回答率	18.3%



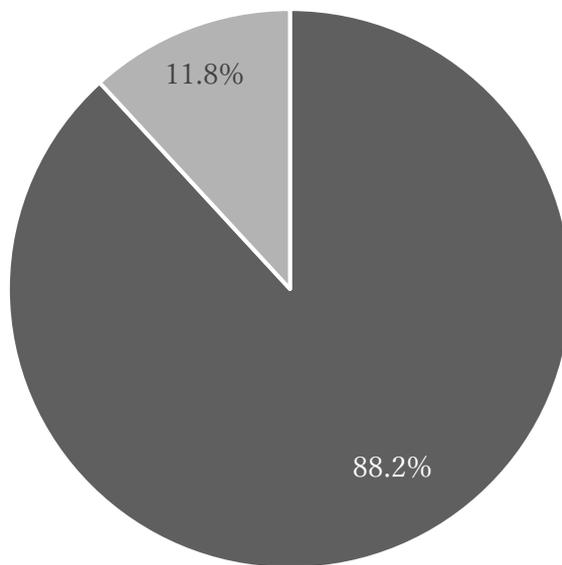
技師の男女比



内側:2015年度調査
外側:2023年度調査

- 男性技師
- 女性技師

管理職の男女比

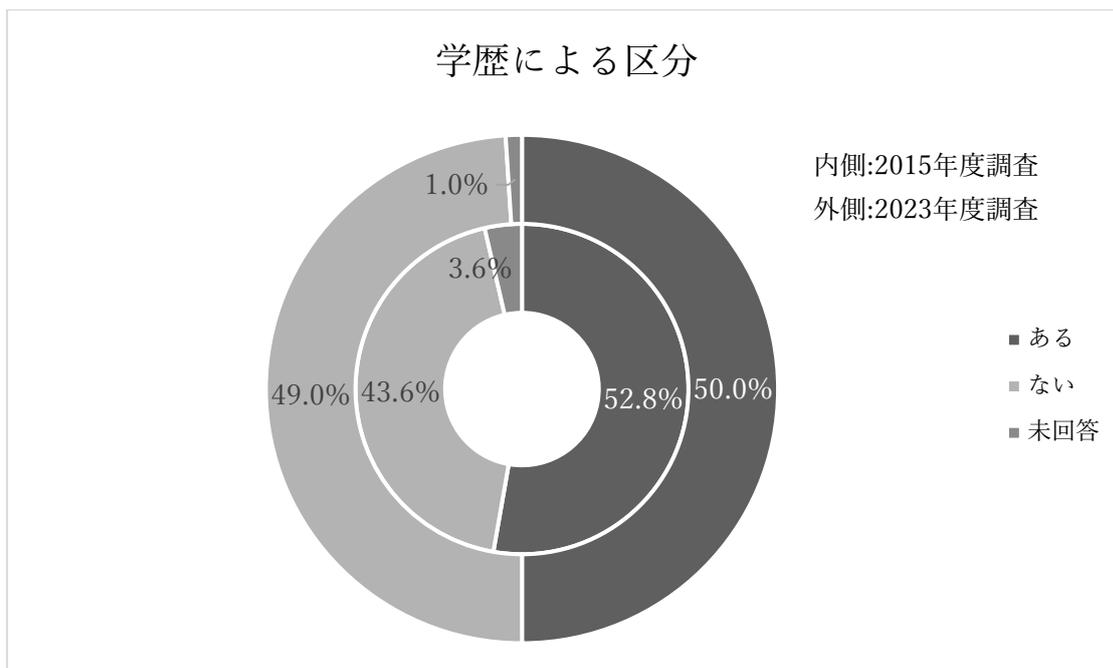


- 男性管理職
- 女性管理職

・給与について

1. 貴施設の基本給は学歴により区分がありますか

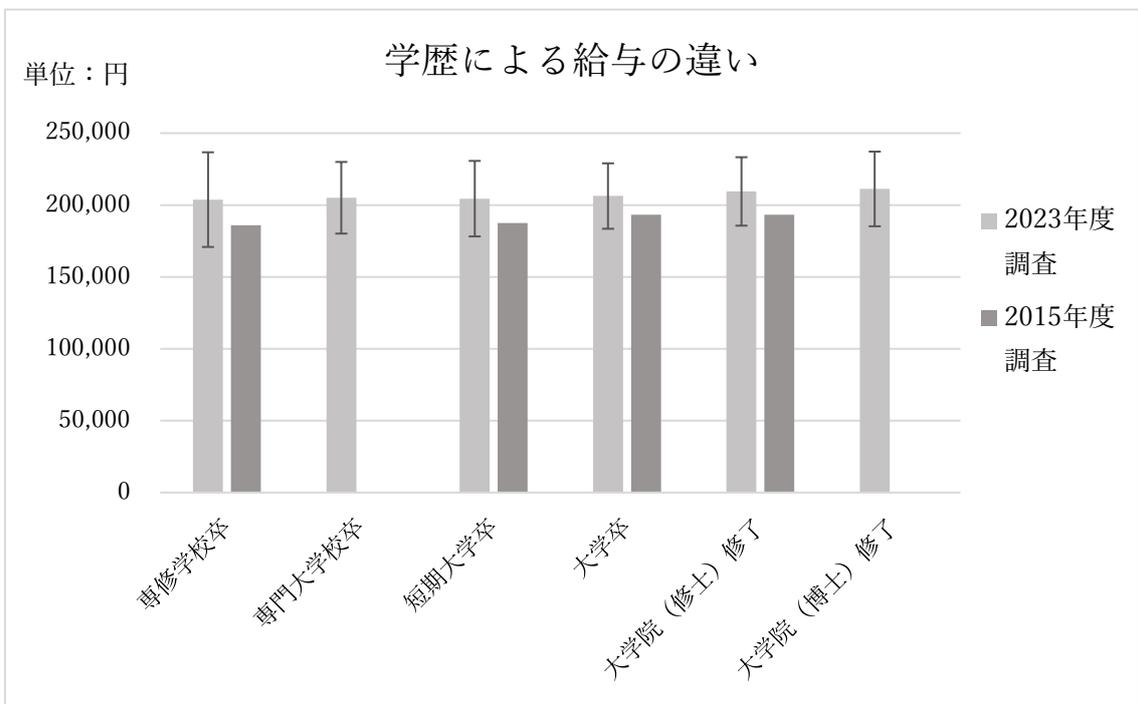
	病院（500床以上）	病院（200～499床）	病院（199床以下）	診療所/クリニック	その他	合計
ある	9	20	9	8	3	49
ない	2	4	14	26	2	48



2. 初任給

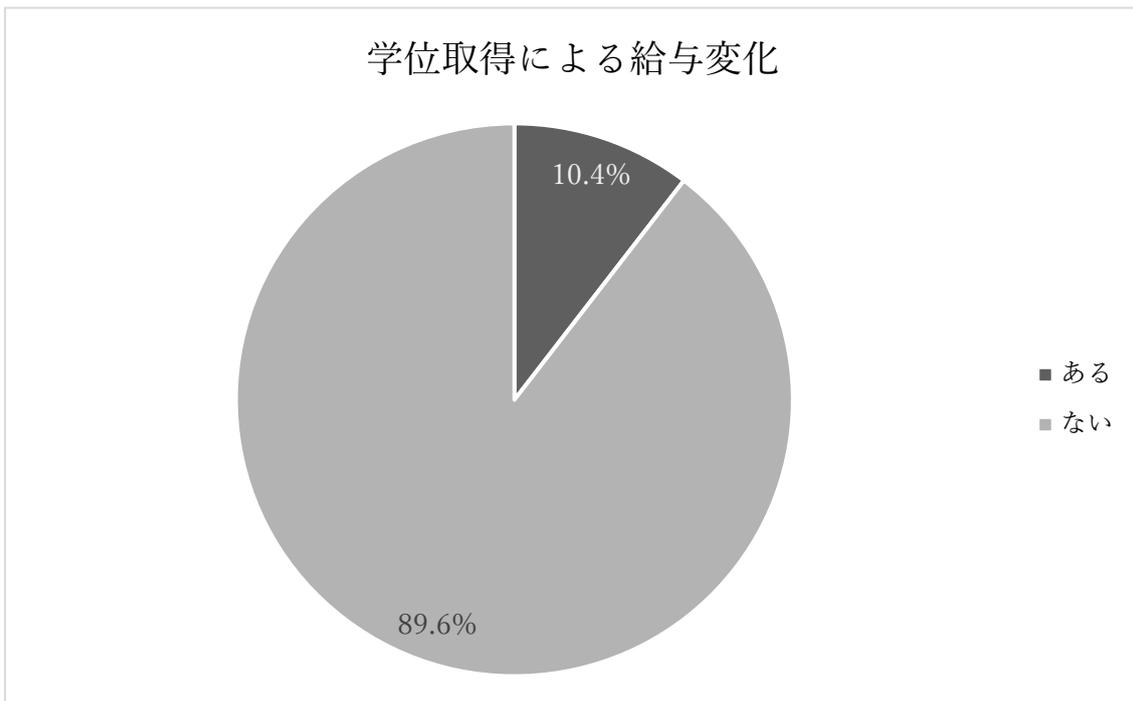
	専修学校 卒の初任 給平均 [円]	専門大 学校卒 の初任 給平均 [円]	短期大 学卒の 初任給 平均 [円]	大学卒 の初任 給平均 [円]	大学院 （修士） 修了の初 任給平均 [円]	大学院 （博士） 修了の初 任給平均 [円]
病院（500床以上）	187,167	192,072	188,850	201,567	199,000	199,000
病院（200～499床）	216,149	229,400	221,623	211,938	224,915	230,769
病院（199床以下）	192,342	194,845	200,350	199,426	196,917	196,917
診療所/クリニック	213,415	207,819	200,788	207,906	206,942	206,942
その他	191,367	205,633	187,050	198,900	203,300	210,350
全体	203,760	205,059	204,428	206,251	209,461	211,184
回答数	34	31	25	41	24	23
2015年度調査	185,986		187,552	193,258	193,258	

2023年	専修学校卒 [円]	専門大学校卒 [円]	短期大学卒 [円]	大学卒 [円]	大学院 (修士) [円]	大学院 (博士) [円]
最高	333,000	275,000	275,000	275,000	275,000	275,000
最低	172,000	168,410	168,410	173,300	174,000	174,000



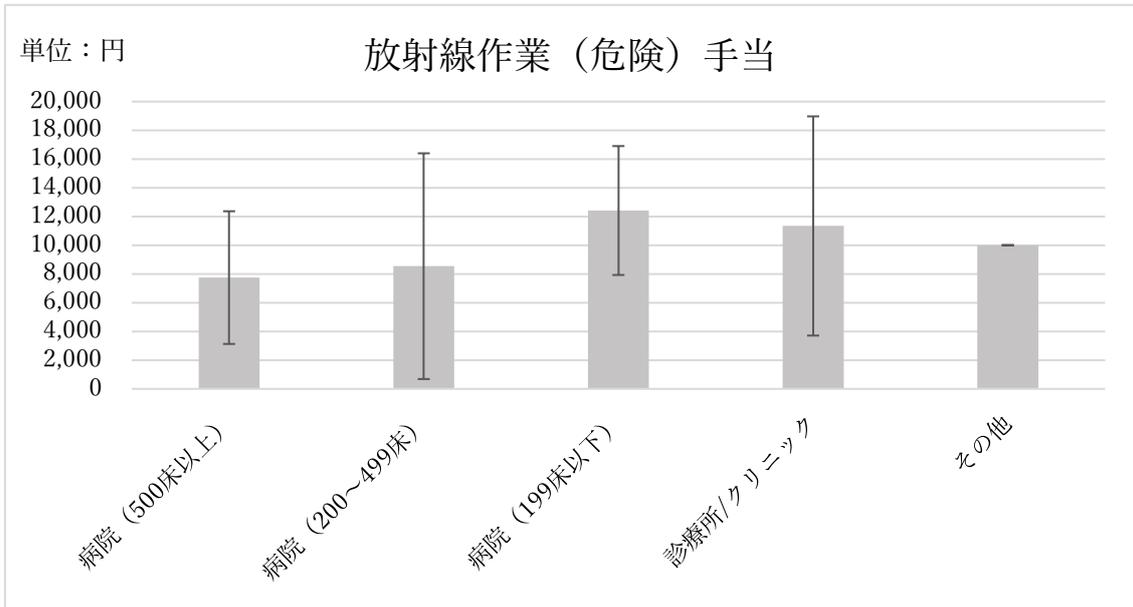
3.就職後学位の取得により給与の変化はありますか

	病院（500 床以上）	病院（200 ～499床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
ある	1	2	1	4	2	10
ない	10	23	20	30	3	86



4.貴施設の放射線作業（危険）手当はいくらですか（月単位）

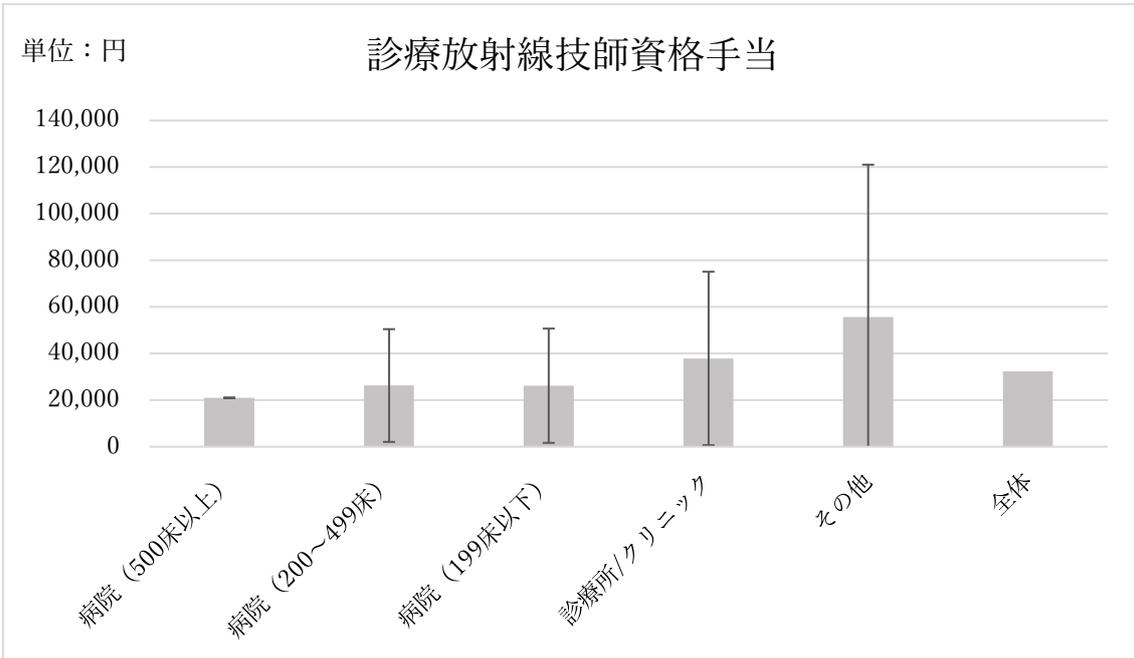
	放射線作業（危険）手当平均[円/月]
病院（500床以上）	7,746
病院（200～499床）	8,541
病院（199床以下）	12,415
診療所/クリニック	11,340
その他	10,000
全体	9,928



2015 年度調査	単位[円]
最高	30,000
最低	1,000

5.貴施設の診療放射線技師資格手当はいくらですか（月単位）

	診療放射線技師資格手当平均[円/月]
病院 (500 床以上)	21,000
病院 (200~499 床)	26,288
病院 (199 床以下)	26,200
診療所/クリニック	37,911
その他	55,667
全体	32,306



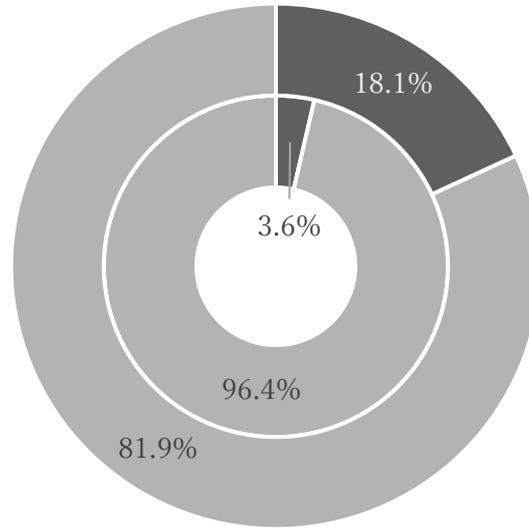
2015 年度調査	単位[円]
最高	66,800
最低	3,000

6.貴施設では放射線作業（危険）手当以外の特殊作業手当（手術室業務・Ai 撮影業務等）、新型コロナウイルス感染症の診療に対する手当の支給はありますか

	病院 (500床以上)	病院 (200~499床)	病院 (199床以下)	診療所/クリニック	その他	合計
ある	3	8	5	1	0	17
ない	8	16	18	31	4	77

2015 年度調査	回答率
ある	3.6
ない	96.4

特殊作業手当

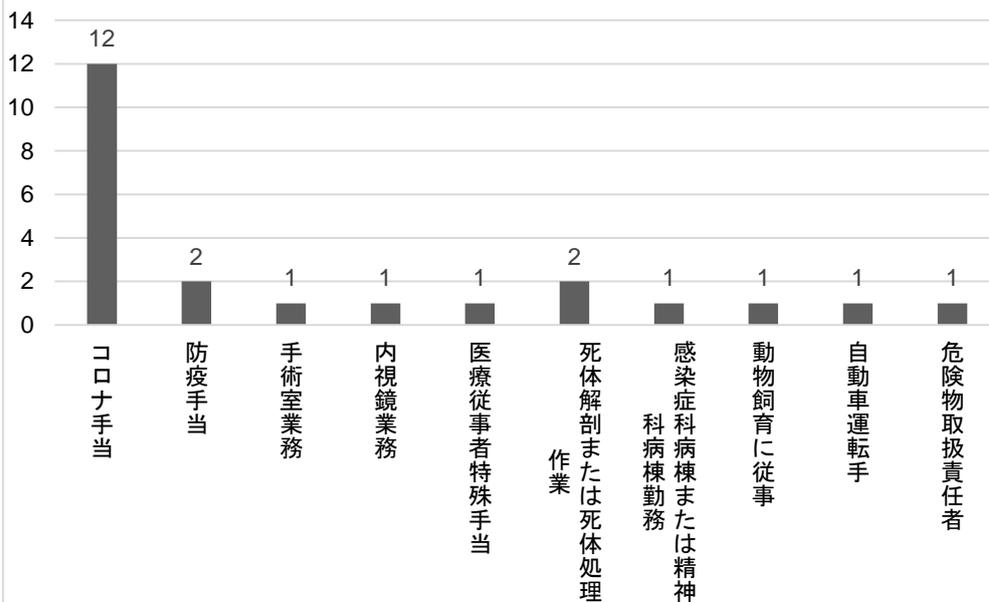


内側:2015年度調査
外側:2023年度調査

■ ある
■ ない

7. 6.で「ある」と答えた施設にお尋ねします。手当の種類を入力してください

特殊作業手当



・その金額はいくらですか（月単位）

（単位：円）

	コロナ手当	防疫手当	手術室業務	内視鏡業務	医療従事者特殊手当
金額	4,000	340	3,000	3,000	5,000
	1,000	720[1類]			
	5,000	340[2類]			
	3,000 [1件]				
	3,000				
	5,000[当直日当]				
	7,000				
	2,000				
	3,000 [ポータブル担当]				

（単位：円）

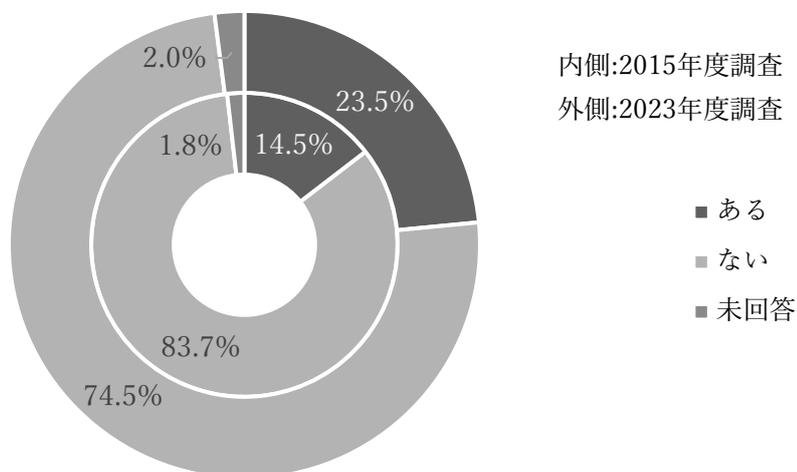
	死体解剖または 死体処理作業	感染症科病棟または 精神科病棟勤務	動物飼育 に従事	自動車 運転手	危険物取扱責任者
金額	4,500	2,500	2,500	2,500	2,500
	190[1体]				

8.貴施設では診療放射線技師以外の免許や認定資格を取得していることで手当はつきますか

	病院（500 床以上）	病院（200 ～499床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
ある	6	7	4	4	2	23
ない	5	18	19	28	3	73
未回答						2

2015年度調査	回答率
ある	14.5
ない	83.7
未回答	1.8

免許・認定資格取得手当



9.上記8で「ついている」と答えた施設にお尋ねします。どのような免許や認定資格を取得していると手当はつきますか（複数回答可）

	回答数	2015 年度調査
第1種放射線取扱主任者	6	3
放射線管理士	1	
放射線機器管理士	1	
医療画像情報精度管理士	1	
臨床実習指導教員	1	
X線 CT 認定技師	3	
X線 CT 専門技師	2	
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師	1	
肺がん CT 検診認定技師	2	
救急撮影認定技師	1	
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	7	3
核医学専門技師	4	
放射線治療品質管理士	0	1
放射線治療専門診療放射線技師	6	3
胃がん検診専門技師	2	
磁気共鳴 (MR) 専門技術者	3	
血管診療技師 (CVT)	0	

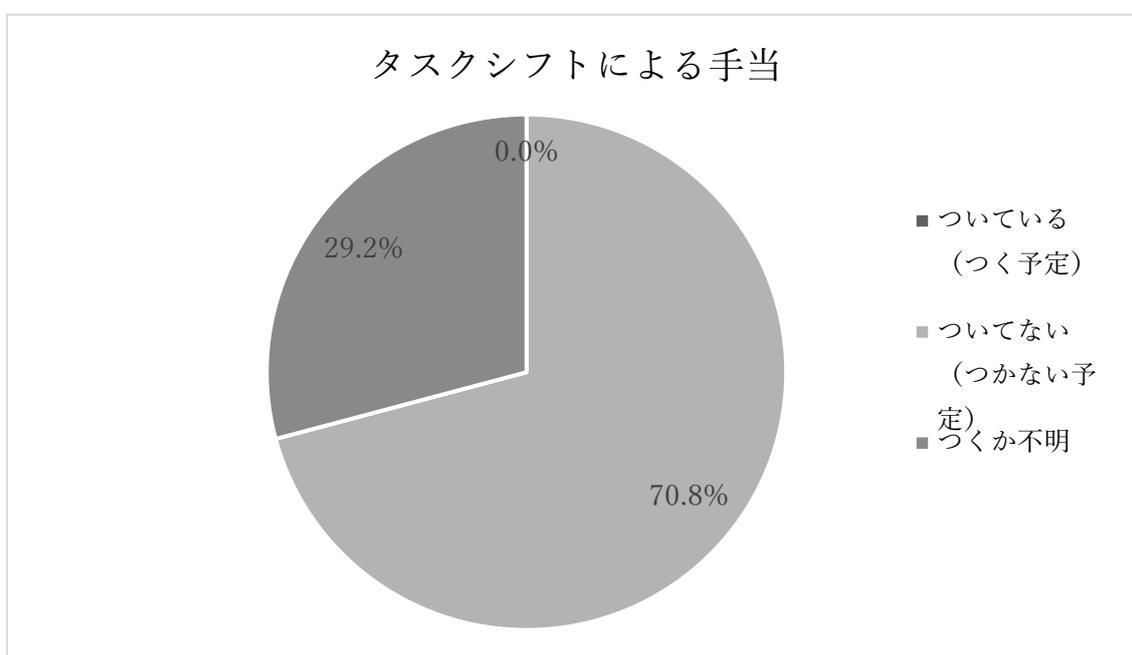
医学物理士	2	1
超音波検査士	1	
その他	1	1

10.上記9で手当がつく免許や認定資格の金額はいくらですか（月単位）

	2023 最大支給額 [円]	2023 最小支給額 [円]	2015 最大支給額 [円]	2015 最小支給額 [円]
第1種放射線取扱主任者	10,000	1,000	10,000	1,000
放射線管理士	10,000	5,000		
放射線機器管理士	10,000	5,000		
医療画像情報精度管理士	10,000	5,000		
臨床実習指導教員	10,000	5,000		
X線 CT 認定技師	10,000	1,000		
X線 CT 専門技師	10,000	3,000		
血管撮影・インターベンシ ョン専門診療放射線技師	10,000	5,000		
肺がん CT 検診認定技師	10,000	1,000		
救急撮影認定技師	10,000	5,000		
検診マンモグラフィ撮影診 療放射線技師	10,000	2,000	10,000	3,000
核医学専門技師	5,000	3,000		
放射線治療品質管理士	0	0	5,000	
放射線治療専門診療放射線 技師	5,000	3,000	5,000	3,000
胃がん検診診療放射線技師	10,000	5,000		
磁気共鳴 (MR) 専門技術者	10,000	1,000		
血管診療技師 (CVT)	0	0		
医学物理士	50,000	3,000	10,000	
超音波検査士	10,000		3,000	
その他		10,000 (心不全療養指導士)		1,000 (医療情報技師・DMAT)

11.医師のタスク・シフト/シェアに伴い、手当はつきますか

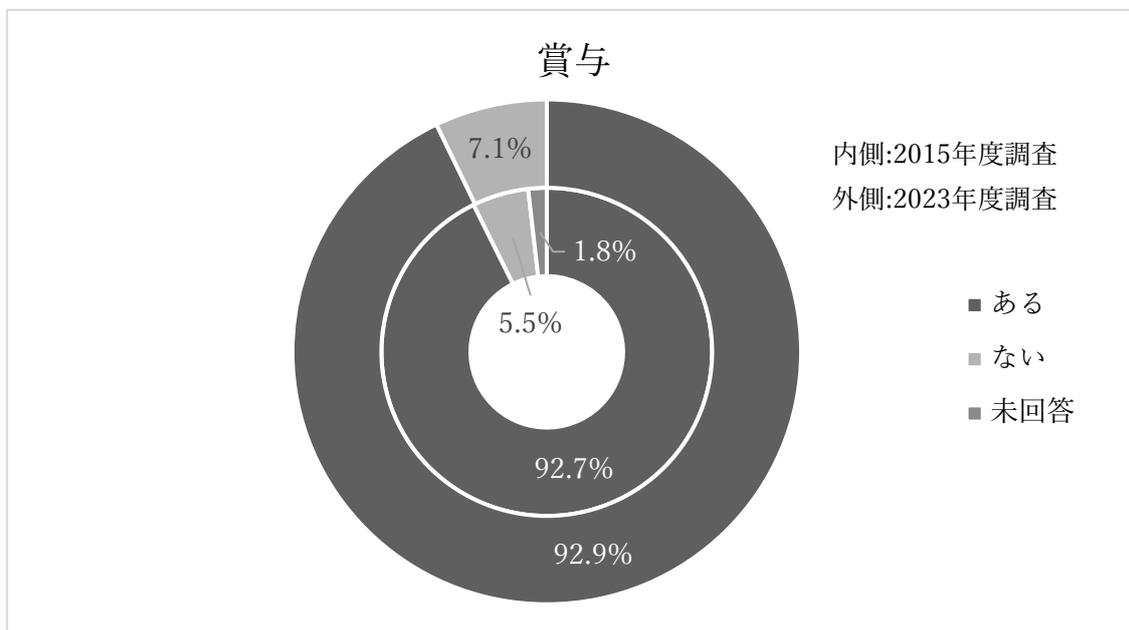
	病院（500 床以上）	病院（200 ～499床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
ついている （つく予定）	0	0	0	0	0	0
ついてない （つかない予定）	10	15	19	21	3	68
つくか不明	1	10	3	12	2	28



12.貴施設では2022年度賞与の支給はありましたか

	病院（500 床以上）	病院（200～ 499床）	病院（199床 以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
ある	11	25	23	27	5	91
ない	0	0	0	7	0	7

2015年度調査	回答率
ある	92.7
ない	5.5
未回答	1.8



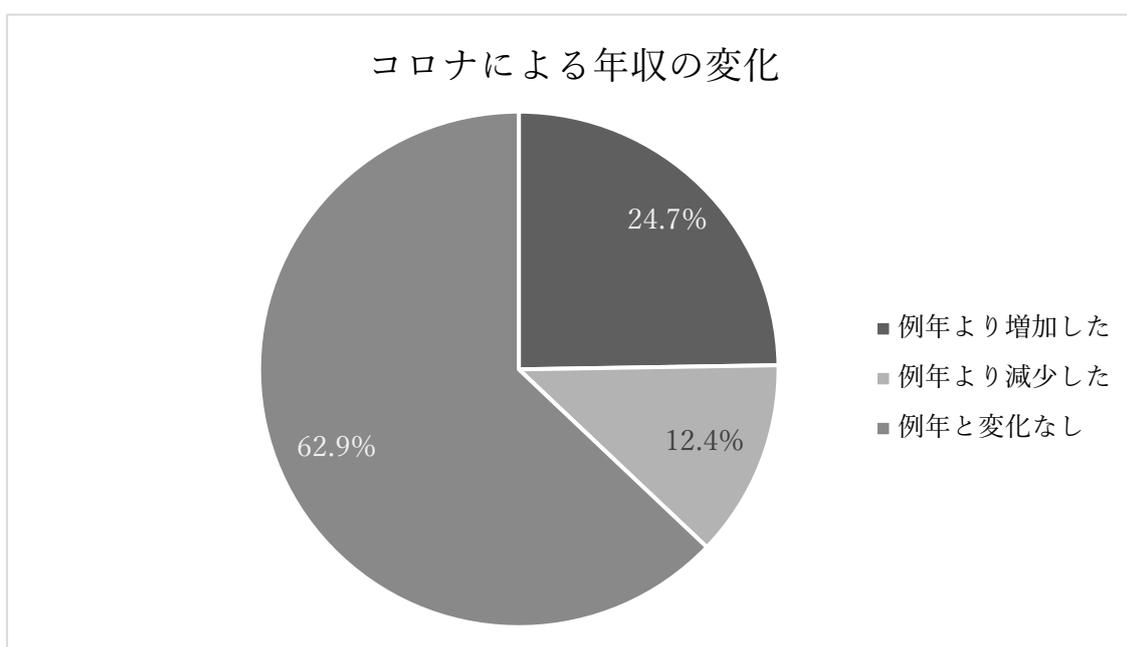
13.上記 12 で「ある」と答えた施設にお尋ねします。2022 年度年間賞与は 1 人あたり月収の何ヶ月分支給されましたか

	病院（500 床以上）	病院（200 ～499 床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	全体
平均[ヶ月]	4.75	4.01	3.34	2.63	4.14	3.51

	2023 年度調査	2015 年度調査
最大[ヶ月]	6.55	6.50
平均[ヶ月]	3.51	4.30
最小[ヶ月]	1.00	1.50

14.新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度の診療放射線技師の年収に変化はありましたか

	病院（500床以上）	病院（200～499床）	病院（199床以下）	診療所/クリニック	その他	合計
例年より増加した	4	13	5	2	0	24
例年より減少した	1	2	1	7	1	12
例年と変化なし	6	10	17	24	4	61

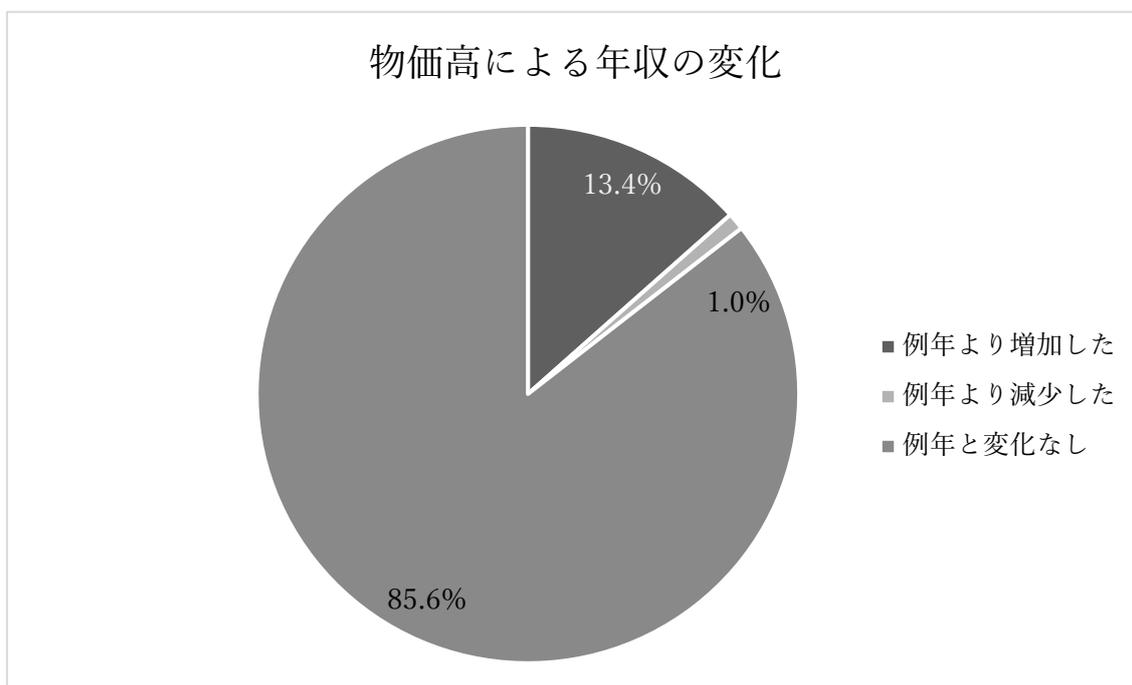


15.年収の変化額

		標準偏差
増加平均額[円]	325,294	479,576
減少平均額[円]	241,250	213,905

16.昨今の物価高の影響により、基本給（又は特別手当等）に変化はありますか

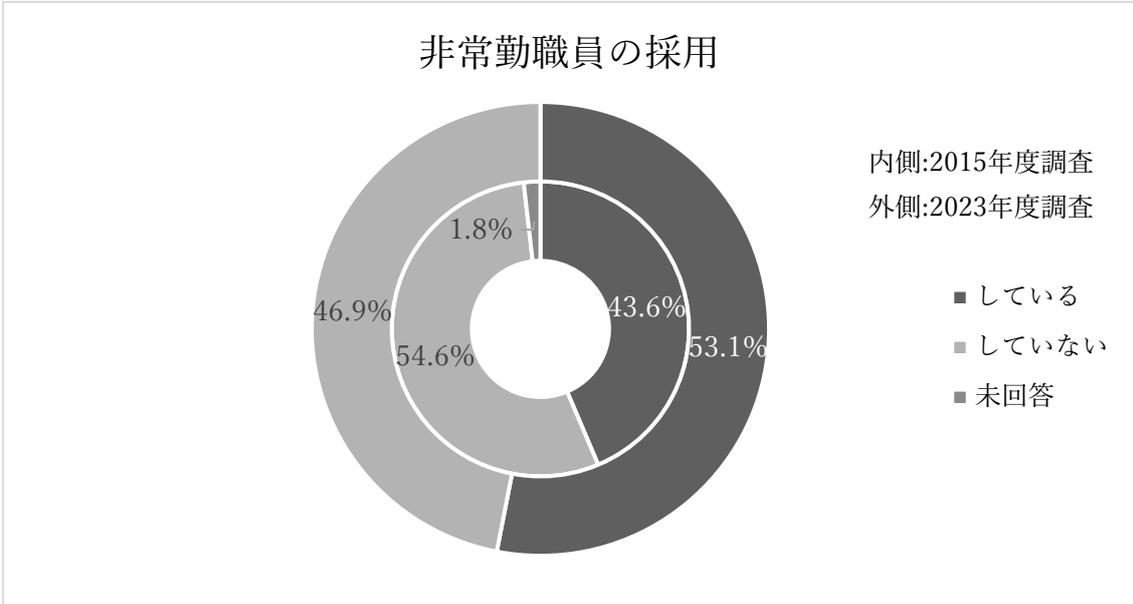
	病院（500 床以上）	病院（200 ～499床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
例年より増加した	1	4	3	3	2	13
例年より減少した	0	0	0	1	0	1
例年と変化なし	10	20	20	30	3	83



17.貴施設では非常勤の診療放射線技師を採用していますか。（夜勤を除く）

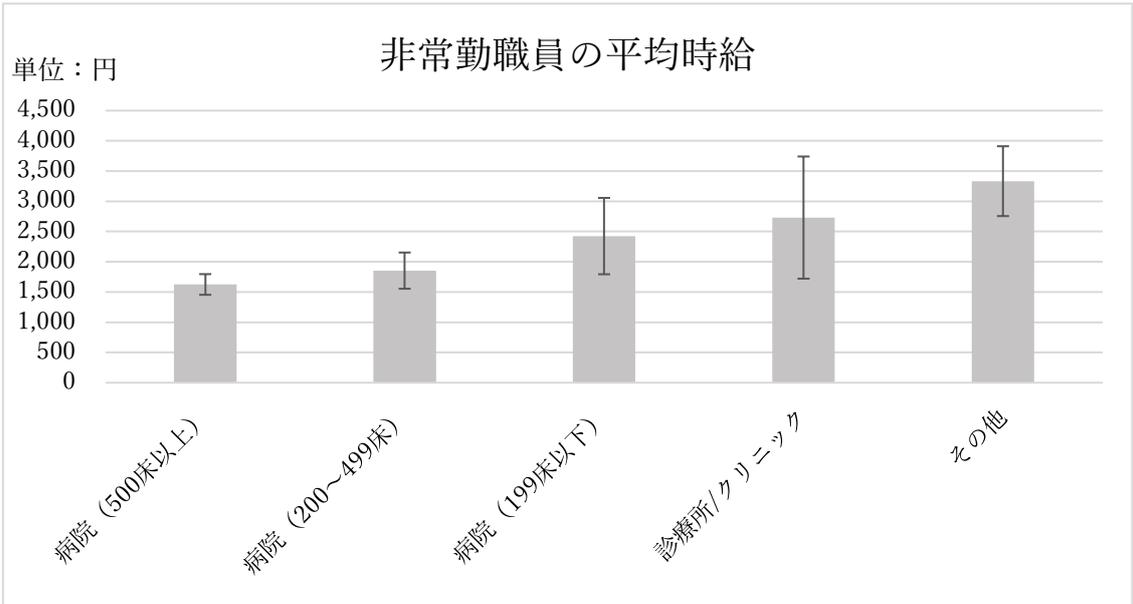
	病院（500 床以上）	病院（200 ～499床）	病院（199 床以下）	診療所/ クリニック	その他	合計
している	6	13	8	22	3	52
していない	5	12	15	12	2	46

2015年度調査	回答率
している	43.6
していない	54.6
未回答	1.8



18.上記 17 で「している」と答えた施設にお尋ねします。時給はいくらですか(夜勤は除く)

	病院 (500 床以上)	病院 (200～499 床)	病院 (199 床以下)	診療所/クリニック	その他
平均時給[円]	1,625	1,854	2,425	2,731	3,333



	2023 年度調査	2015 年度調査
最高[円]	5,000	5,714
平均[円]	2,418	2,396
最低[円]	1,140	1,200

19.ご意見がございましたらお書きください.

当直、夜勤の実態など
モダリティー台あたり最低一人技師の配置が必要などという法律を作ってほしい。明らかにオーバーワークでも技師を守ってくれる法律がない。ぜひお願いいたします。
本アンケートの結果が知りたいです。
転職採用（年俸制）しか実施していない施設には不適な調査かと。
告示研修を受講した人としていない人の資格格差がつくように働きかけていただけるといいです。

*一部抜粋

<考察>

今回の調査は2015年に行った給与調査との比較も行った。回答結果から女性技師の割合が前回調査より10ポイント増えた。今回は女性管理職の数も調査を行い、12%という結果が得られた。女性管理職の割合が増えていくことは社会的にも求められている実情があるため、今後も調査を継続していきたいと考える。初任給に関しては前回調査よりどの学歴に関しても増加していることが分かった。放射線作業（危険）手当や診療放射線技師資格手当、賞与は変化がないのに対し、初任給のみが増加しているのは、社会の動向と連動していることが分かった。母数が少ない為バイアスの影響は否定できないが、診療放射線技師以外の免許や認定資格について、前回調査より手当がつく免許・資格が多くなっていることが分かった。医師のタスク・シフト/シェアが推進されている中、多くの資格や免許に手当がつくようになり、診療放射線技師の専門性を評価されていることが示唆される。また、現状はタスク・シフト/シェアに対して手当がついていると回答した施設はないが、今後の動向を鑑みて継続した調査が必要である。昨今の物価高に対しての増収は13%であった。医療従事者の収益は保険診療によるところが大きい為、社会の流れより対応が遅くなってしまうことは致し方ないが、2024年6月に診療報酬改定もあり、今後の変化を継続して調査をしていく。今回の調査では初任給の増加と手当の増加を明確にできた。非常勤職員の時給も含めさらなる診療放射線技師の地位向上の為にも待遇改善は重要となる。

<謝辞とお願い>

2023年度の調査にあたり、多くの会員の方にご協力をいただきましたことを感謝申し上げます。今後の調査におきましても、引き続きご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。